

事務事業評価調書

1

1. 基本情報

事務事業名	町有林整備事業			事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-③-30
担当課	農林課	担当係	農政林務係	担当者	西谷		
事業の性質	☐ 法定受託事務 ☐ 義務的自治事務 ☒ 任意の自治事務				法定根拠		
実施方法(全てチェック)	☒ 町が直接実施 ☐ 委託又は指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他(						

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	1	基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策	③	開発と調和した林業の推進
	具体的な施策	30	町有林整備事業
めざす目的成果	町有林を適切に管理し、森林を持つ公益的機能の高度発揮と森林資源の充実を図る。		
事業内容	対象 (誰を、何を)	町有林	
	手段・手法	町有林の整備	
	サービス内容	地拵、下刈、植付、徐間伐事業	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位: 千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	事業費	委託費	286		295		294		事業費 67,555,000円(補助対象) 8,622,000円(受託事業) 1,636,000円(林道単独分) 863,000円(森林整備単独分) 計 78,676,000円
		工事費	67,943		94,433		78,188		
		原材料費	163		167		194		
		事業費合計	68,392		94,895		78,676		
	人件費	常勤職員(延)	90 人日	2,968	90 人日	2,681	90 人日	2,682	
		会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0	
		人件費合計	2,968		2,681		2,682		
総事業費		71,360		97,576		81,358		令和3年度財源内訳の積算	
財源内訳	国道支出金	48,319		63,603		41,757		森林整備補助金 41,757,000円 受託費 8,622,000円 立木売払 25,489,000円 一般財源 5,490,000円	
	地方債								
	その他特定財源	20,073		30,584		34,110			
	一般財源	2,968		3,389		5,491			
	財源合計	71,360		97,576		81,358			
R2年度 実施内容		準備地拵 10.98ha 植付 25.3ha 下刈 104.87ha 間伐 112.29ha							
活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	R1実績	R2実績		目標年度	
町有林管理事業		町有林の育成		ha	R1(目標)	R2(目標)	R3(目標)	最終目標値	
					248	245	—	年度	
					(248)	(224)	()	()	
							—	年度	
					()	()	()	()	
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	R1実績	R2実績		目標年度	
森林資源の充実		森林資源の充実を図った		ha	R1(目標)	R2(目標)	R3(目標)	最終目標値	
					248		—	年度	
					(248)	(224)	()	()	
							—	年度	
					()	()	()	()	

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1 次 評 価 (自 己 評 価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		☒ 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) ☐ 法律で義務付けられている(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 課題もあり検討すべき(4) ☐ 必要性がない(0)	説明	毎年行っている補助事業である。
		② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		☒ 現手法が最適である(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 一部改善すべき(4) ☐ 全面的に見直すべき(0)	説明	長年、適正に行われており改善の余地はない。
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2
		☐ 全住民に対し公平である(10) ☒ 対象者に対し公平である(6) ☐ 見方により偏りがある(4) ☐ 実態として偏りがある(0)	説明	公平性を欠くところはない。
		② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		☒ 十分適切である(10) ☐ 受益者負担なし(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ やや不適切である(4) ☐ 受益者負担を検討すべき(2) ☐ 不適切である(0)	説明	適切と考えられる。
3. 有効性の評価				
12	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		2	
	☐ とても有効である(10) ☒ 有効である(6) ☐ やや有効性に欠ける(4) ☐ 有効性に疑問がある(0)	説明	町有林整備のためには不可欠な事業と考えられる。	
	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		2	
	☐ 計画値以上である(10) ☒ 計画値通りである(6) ☐ 計画値以下である(4) ☐ 計画値達成が困難である(0)	説明		
4. 効率性の評価				
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2	
	☐ 比較的低コストである(10) ☒ 適正なコストである(6) ☐ ややコスト高である(4) ☐ 極めてコスト高である(0)	説明	適切と考えられる。	
	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		1	
	☒ 効率性が高い(10) ☐ 適正である(6) ☐ 改善の必要がある(4) ☐ 非効率である(0)	説明	効率性が高い。	
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	☒ 必ず実施(10) ☐ できれば実施(6) ☐ 見直して実施(4) ☐ 事業見合わせ(2) ☐ 終了・廃止すべき(0)	説明	毎年行っている補助事業である。	
	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	☒ 影響は大きい(10) ☐ 影響はある(6) ☐ 影響は少ない(4) ☐ 影響はない(0)	説明	廃止した場合、町有林の適切管理が出来ない。	

合計	84 ／100	事業実施の課題・方向性	町有林整備は今後も災害が無ければ同様に継続する
----	------------	-------------	-------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2 次 評 価 (政 策 プ ロ)	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間: 年度～ 年度) ☐ 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源 の方向性	事業量	☒ 現状のまま ☐ 縮小
		労働量	☒ 現状のまま ☐ 縮小
	今後の取組方針 (改善点・変更点)		
主 管 者 会 議 評 価	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間: 年度～ 年度) ☐ 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源 の方向性	事業量	☒ 現状のまま ☐ 縮小
		労働量	☒ 現状のまま ☐ 縮小
	総合コメント		

事務事業評価調書

2

1. 基本情報

事務事業名	有害鳥獣駆除事業			事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-③-31
担当課	農林課	担当係	農政林務係	担当者	西谷		
事業の性質	☐ 法定受託事務 ☐ 義務的自治事務 ☒ 任意の自治事務				法定根拠		
実施方法(全てチェック)	☒ 町が直接実施 ☐ 委託又は指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他(						

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	1	基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策	③	開発と調和した林業の推進
	具体的な施策	2	森林資源の保全と活用
めざす目的成果	有害鳥獣駆除を実施し、農林業被害の軽減を図る。		
事業内容	対象 (誰を、何を)	熊、エゾシカ、キツネ、カラスの有害駆除	
	手段・手法	猟友会広尾支部による銃器、箱わな等による有害駆除	
	サービス内容	有害駆除奨励金	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳
コスト	事業費		8,131	8,494	6,670	奨励金 熊駆除奨励金 20頭×20,000円 エゾシカ駆除奨励金 1,200頭×5,000円 キツネ駆除奨励金 50頭×3,000円 カラス等駆除奨励金 60羽×500円 アライグマ駆除奨励金 30頭×3,000円		
	事業費合計		8,131	8,494	6,670			
財源内訳	人件費	常勤職員(延)	4人日	132	4人日	120	4人日	120
		会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0
		人件費合計		132	120	120		
		総事業費		8,263	8,614	6,790		
	財源合計		8,263	8,614	6,790			
R2年度実施内容		熊駆除35頭 エゾシカ駆除1,512頭 キツネ駆除61頭 カラス駆除26羽 ドバト駆除11羽 アライグマ駆除9頭						
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)		目標年度
				R1(目標)	R2(目標)			最終目標値
有害鳥獣の駆除		有害鳥獣の駆除を行った。	頭	1611	1654	—		年度
				(1200)	(1200)	(1200)		()
						—		年度
				()	()	()		()
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)		目標年度
				R1(目標)	R2(目標)			最終目標値
農業被害		農業被害の軽減を図った。	ha	175	436	—		年度
				(130)	(130)	(130)		()
						—		年度
				()	()	()		()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1 次 評 価 (自 己 評 価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		☒ 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) ☐ 法律で義務付けられている(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 課題もあり検討すべき(4) ☐ 必要性がない(0)	説明	毎年行っている事業である。
		② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		☒ 現手法が最適である(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 一部改善すべき(4) ☐ 全面的に見直すべき(0)	説明	最適である。
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2
		☐ 全住民に対し公平である(10) ☒ 対象者に対し公平である(6) ☐ 見方により偏りがある(4) ☐ 実態として偏りがある(0)	説明	対象者に対し公平。
		② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		☒ 十分適切である(10) ☐ 受益者負担なし(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ やや不適切である(4) ☐ 受益者負担を検討すべき(2) ☐ 不適切である(0)	説明	適切と考えられる。
3. 有効性の評価				
12	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		2	
	☐ とても有効である(10) ☒ 有効である(6) ☐ やや有効性に欠ける(4) ☐ 有効性に疑問がある(0)	説明	農林業被害減少のために有効	
	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		2	
	☐ 計画値以上である(10) ☒ 計画値通りである(6) ☐ 計画値以下である(4) ☐ 計画値達成が困難である(0)	説明		
4. 効率性の評価				
12	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2	
	☐ 比較的低コストである(10) ☒ 適正なコストである(6) ☐ ややコスト高である(4) ☐ 極めてコスト高である(0)	説明	適正なコストである。	
	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		2	
	☐ 効率性が高い(10) ☒ 適正である(6) ☐ 改善の必要がある(4) ☐ 非効率である(0)	説明	効率性が高い。	
5. 優先性の評価				
16	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	☒ 必ず実施(10) ☐ できれば実施(6) ☐ 見直して実施(4) ☐ 事業見合わせ(2) ☐ 終了・廃止すべき(0)	説明	毎年行っている事業である。	
	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		2	
	☐ 影響は大きい(10) ☒ 影響はある(6) ☐ 影響は少ない(4) ☐ 影響はない(0)	説明	鳥獣駆除に影響がある。	

合計	76 ／100	事業実施の課題・方向性	ハンター数も減少している中で、今後も農業被害を防止するため、継続する。
----	------------	-------------	-------------------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2 次 評 価 (政 策 プ ロ)	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間: 年度～ 年度) ☐ 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源 の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
		労働量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	今後の取組方針 (改善点・変更点)		
主 管 者 会 議 評 価	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間: 年度～ 年度) ☐ 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源 の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
		労働量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	総合コメント		